

# 摩周のふくし

発行／社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内 (☎015-482-1054・FAX482-1236)



## 救急救命講習

去る2月25日(月)、弟子屈町赤十字奉仕団と弟子屈町ボランティア連絡協議会(高砂弥生会長)が共同で「救急救命講習」を開催し、両団体に所属する会員19名が参加しました。

近年、様々な災害が発生しており、昨年の9月に発生した胆振東部地震は記憶に新しいと思います。

災害時にボランティアとして何ができるのかを考えると共に、救援活動の一環として救急救命を学び、緊急時の対応に役立てることを目的に皆で受講しました。

講習の中では、倒れている人に対しての接し方、救急車が来るまでの人工呼吸法、心臓マッサージの強さや回数などを知る心肺蘇生法、心肺停止時のAEDの使い方などを人形を使って学びました。

いつ実践で使うことになるか、誰にもわかりません。実際に自分が行う時、慌てずに対応できるように、2年から3年ごとの受講が必要になっていきます。

どんなことでもそうですが、常日頃からの備えが大切なことだと感じました。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

# 2019年度 弟子屈町 社協事業計画

## 基本 目標

◆誰もが安心して暮らせる  
まちづくり

◆安全・安心・福祉のまちづくり

## ＊みんなが支え合う地域づくり＊

### 生活基盤の確保

- 愛情銀行業務の相談対応、貸付  
生活困難な町民に対し、火災見舞金や応急的な経済援助として臨時小額貸付を行います。
- 生活福祉資金の相談対応  
道社協との連絡調整のもと、町民に対し制度の周知と貸付相談業務及び償還指導を行います。
- 生活困窮者等に対する安心サポート事業の実施  
道社協主体のもと、相談支援や緊急対応が必要な場合の現物給付等による経済的援助を行ない、生活困窮者等の自立を支援します。

### 住民の交流推進

- 待合室「みちくさ」の支援  
ボランティアによるこどもから高齢者までが気軽に立ち寄り「休息・待ち合わせ・情報交換の場」の運営を支援します。
- ふれあいサロン事業の推進  
待合室「みちくさ」を拠点に、自宅に閉じこもりがちな高齢の方々の交流やふれあいの場を提供します。
- 高齢者サロン活動支援事業の推進  
各地域でサロンサポーターがサロンを開催し、高齢者と交流する体制づくり事業の推進を図ります。
- サロンサポーターの育成  
サロンサポーターの育成を図り、各サロンの普及に努めます。
- ひとり暮らし高齢者への布絵ハガキの送付支援  
町内在住のひとり暮らし高齢者を対象に、布絵サークルの会員が作製した季節ごとの布絵ハガキを送り、孤立感の解消を図ります。
- 行事用テントの貸出し及び管理  
町内の団体が行事等で使用するテントを無償で貸出し、地域の交流を支援します。

### 子育て支援の推進

- 子育てサポート事業の推進  
何らかの理由により、保護者（利用者）がこどもの育児援助を必要とした場合、地域住民が協力者として支援を行います。



## 事業方針

人口減少や少子高齢化の進行の中で、高齢世帯の増加や核家族化に伴い家族や地域における相互援助の機能が低下し、地域住民のつながりも希薄化してきています。

このことから本会では、引き続き住民とともに福祉問題を考え、解決にあたる活動に取り組むとともに、行政や社会福祉等の団体関係者、さらには、保健、医療、教育等の関連分野を含めた幅広い連携を図りながら、住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現に努めてまいります。

## ボランティア活動の支援

- ボランティアセンター運営事業の推進  
町民に広くボランティア活動への関心と理解を深めていただくため、ボランティアの登録や斡旋、研修会などを行います。
- 寄贈品の配分及び管理の実施  
雑巾、紙おむつ、清拭布など、町民からの寄贈品の管理と、希望する施設等への配分を行います。
- リングブル等収集活動事業への支援  
リングブル、使用済み切手、エコキャップ、書き損じハガキなどの収集活動への支援を行います。
- 有償ボランティアの検討・実施  
ボランティア活動が継続できるよう、有償ボランティアについての検討を行います。
- 災害ボランティアへの支援  
災害ボランティアとして登録している方の活動に対しての支援を行うとともに、社協災害時対応マニュアルの活用を図ります。
- 日赤奉仕団への支援  
日赤奉仕団に登録している方の活動に対しての支援を行います。

## ボランティア意識の啓発

- 中・高校生ワークキャンプ事業の実施  
夏休みに、町内の社会福祉施設での学習体験や体験講座を通じ、中・高校生のボランティア活動への理解と、振興を図ります。
- 福祉教育推進事業の実施  
学校等のボランティア活動の交流や、相互の情報交換を図るため「学校ボランティア連絡協議会」を開催します。
- 児童・生徒のボランティア活動支援事業の実施  
町内の小・中学校、高等学校を対象にボランティア精神を育てるため、協力校を指定しその活動を支援します。

## レスパイト事業の推進

- レスパイト事業の推進  
障がいを持つこどもを一時的に預かり、保護者に休息の時間を創出し、その時間を有効活用してもらうとともに、保護者相互の交流や研修会等を行います。

# みんなが安心して生活できる地域づくり

## 介護保険サービス等の拡充

### ●訪問介護事業の拡充

訪問介護員が、要介護者の家庭を訪問して入浴・排泄・食事等の身体介護や調理・洗濯・掃除等の家事援助、生活等に関する相談・助言等、日常生活上のお世話を行います。

### ●居宅介護支援事業の拡充

居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービス（指定居宅サービス等）を適切に利用できるように、要介護者とサービス提供事業者や行政との連絡・調整を行います。

### ●デイサービス事業の拡充

要支援・要介護認定を受けた高齢者を対象にデイサービスセンターで送迎、入浴・食事・レクリエーション等のサービスの提供を行い、利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

## 地域福祉権利擁護事業等の実施

### ●日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がいなどで在宅生活を行っている判断能力が不十分な方が、福祉サービスの利用援助や、生活費等の管理に不安を抱えている場合、道社協より委託を受け援助サービスを行います。

### ●法人後見事業（成年後見）の実施

認知症や知的障がいなどにより意思決定が困難な方の判断能力を補うため、弟子屈町社協（法人）が後見人となり、後見支援員の協力を得ながら財産管理や身上保護を行います。

### ●市民後見人フォローアップ研修の実施

市民後見人養成研修を修了した町民を対象にフォローアップ研修を開催し、地域の権利擁護体制の充実を図ります。

## 在宅福祉サービスの実施

### ●入浴サービス事業の実施

家庭において入浴の困難な寝たきり老人等に対して、週1回（水曜日）特殊浴槽を利用して入浴サービスを行います。

### ●移送サービス事業の実施

疾病や高齢化により身体機能の低下した者で、家族の送迎や公共交通機関等を利用して通院することが困難な町民に対し、移送サービスを行います。

### ●訪問サービス事業の実施（釧路ヤクルトに委託）

安否確認や励ましが必要と思われるひとり暮らしの70歳以上の町民を対象に、ヤクルト販売員が乳酸菌飲料を持参し、安否確認を行います。

### ●老人世帯等除雪援助事業の実施

自宅前通路を自力で除雪することが困難な、おおむね70歳以上の高齢者世帯及び重度心身障がい者世帯に対し除雪援助を行い、避難通路の確保を行います。

### ●給食サービス事業の実施（摩周湖農協に委託）

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯で食事を作ることが困難な世帯に定期的に食事を届け、食事の確保と安否確認を行います。

### ●雪下ろし費用助成事業の実施

おおむね70歳以上の高齢者世帯または障がい者世帯で落雪等による危険があると判断された世帯に対して、雪下ろし費用の一部助成を行います。

### ●高齢者等生きがい活動支援通所事業の実施

居宅で生活する要介護認定非該当の高齢者を対象に、デイサービスセンターにて食事やレクリエーション等のサービスの提供を行います。

### ●高齢者等軽度生活援助事業の実施

居宅で生活する要介護認定非該当の高齢者に、訪問介護員が居宅内の清掃などの軽易な日常生活の援助を行います。

## 相談体制の充実

### ●心配ごと相談所の運営・推進

町民の日常生活上の相談に応じるため相談員を設置します。

# 地域福祉を支え、頼りになる社協づくり

## 社協基盤の強化

### ●法人運営体制の強化

地域福祉を推進する法人としての役割を果たし、地域住民から信頼される組織・運営体制の確立とともに、自立した法人運営を目指します。

### ●共同募金事業への協力・支援

地域に活用される募金制度の理解に努めるとともに、共同募金を財源とする各種事業のPRと活用方法の周知を行います。

### ●福祉関係団体の事務局業務

弟子屈町遺族会、弟子屈町老人クラブ連合会、弟子屈町共同募金委員会、弟子屈町ボランティア連絡協議会、弟子屈町赤十字奉仕団等福祉関係団体の事務局を担い、適正な運営による基盤の強化を図ります。

### ●高齢者就労センターの運営強化

高齢者の経験と技術を活かし、地域に貢献できるよう、働く機会と生きがいを提供するとともに運営の強化を図ります。

### ●収益事業の検討・実施

収益事業の検討を行い、基盤の強化に努めます。

## 地域福祉実践計画の適正運用

### ●第5期地域福祉実践計画の管理と評価

平成29年度に策定した第5期地域福祉実践計画の評価と検証を行い、改善活動に努めます。

### ●第6期地域福祉実践計画の策定準備

第5期実践計画期間（5か年）中の課題整理を行い、次期計画に活かします。

## 社協事業の住民理解の推進

### ●社協だより「摩周のふくし」の充実

住民へのきめ細やかな情報の提供を行うなど、地域福祉への関心と理解の向上に努めます。

### ●ホームページの策定・管理

社協の情報発信を行うホームページの管理を行います。



# 2019年度 弟子屈町 社協資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	摘 要・内 訳
会 費 収 入	1,225	1,160	65	一般会費 1 □500円／賛助会費 1 □2,000円
寄 付 金 収 入	300	300	0	一般寄付金
経 常 経 費 補 助 金 収 入	42,450	43,403	△953	弟子屈町 41,470／共同募金配分金 980
受 託 金 収 入	25,507	24,227	1,280	町受託事業（福祉センター管理業務・権利擁護事業・介護予防事業）、道社協受託事業（生活福祉資金）、高齢者就労センター受託金
貸 付 事 業 収 入	444	494	△50	愛情銀行償還金
事 業 収 入	5,194	6,127	△933	給食サービス利用者負担金@430×12,080食
負 担 金 収 入	0	936	△936	
介 護 保 険 収 入	79,135	70,518	8,617	訪問介護事業・居宅介護支援事業・デイサービス事業・障害福祉サービス等
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入	1,750	2,040	△290	訪問介護事業
受 取 利 当 金 収 入	6	6	0	預金利息
そ の 他 の 収 入	34	34	0	雑収入
事 業 活 動 収 入 計 (1)	156,045	149,245	6,800	
人 件 費 支 出	89,241	80,790	8,451	職員給与・社会保険料等
事 業 費 支 出	50,974	51,685	△711	在宅福祉サービス事業費、就労センター会員配分金他
事 務 費 支 出	13,714	14,529	△815	各事業事務経費
貸 付 事 業 支 出	400	450	△50	愛情銀行貸付金
共同募金配分金事業費	980	1,005	△25	福祉団体配分金、レスパイト事業、ワークキャンプ事業他
助 成 金 支 出	716	766	△50	福祉団体運営費助成金
流 動 資 産 評 価 損 等 による 資 金 減 少 額	20	20	0	行旅放浪人旅費
事 業 活 動 支 出 計 (2)	156,045	149,245	6,800	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0	0	0	
施 設 整 備 等 収 入 計 (4)				
施 設 整 備 等 支 出 計 (5)				
施 設 整 備 等 資 金 収 支 差 額 (6) = (4) - (5)				
そ の 他 の 活 動 収 入 計 (7)				
そ の 他 の 活 動 支 出 計 (8)				
そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額 (9) = (7) - (8)				
予 備 費 支 出 (10)				
当 期 資 金 収 支 差 額 合 計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	0	0	



# 拠点区分別 予算内訳

4ページの資金収支予算書を  
3つの拠点区分別に  
まとめた内訳です。



## 拠点区分 社協事業 (法人運営事業・在宅福祉サービス事業・福祉センター管理事業・権利擁護事業・地域福祉推進事業・ボランティアセンター事業・介護予防事業・生活福祉資金貸付事業・愛情銀行事業)

(単位：千円)

科目	本年度予算額
会費収入	1,225
寄付金収入	300
経常経費補助金収入	42,450
受託金収入	7,327
貸付事業収入	444
事業収入	5,194
受取利息配当金収入	2
その他の収入	32
事業活動収入計(1)	56,974

科目	本年度予算額
人件費支出	25,878
事業費支出	22,297
事務費支出	6,683
貸付金支出	400
共同募金配分 金事業費支出	980
助成金支出	716
流動資産評価損等 による資金減少額	20
事業活動支出計(2)	56,974
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0



## 拠点区分 介護保険事業 (訪問介護事業・居宅介護支援事業・デイサービスセンター事業)

(単位：千円)

科目	本年度予算額
介護保険収入	79,135
障害福祉サービス等 事業収入	1,750
受取利息配当金収入	3
その他の収入	1
事業活動収入計(1)	80,889

科目	本年度予算額
人件費支出	63,363
事業費支出	11,107
事務費支出	6,419
事業活動支出計(2)	80,889
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0



## 拠点区分 高齢者就労センター事業

(単位：千円)

科目	本年度予算額
受託金収入	18,180
受取利息配当金収入	1
その他の収入	1
事業活動収入計(1)	18,182

科目	本年度予算額
事業費支出	17,570
事務費支出	612
事業活動支出計(2)	18,182
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0
当期資金収支差額合計(4)	0

# ボランティアセンターだより

## ボランティアの集い

平成31年3月12日(火)10時から、社会老人福祉センターの調理室で、弟子屈町役場の石塚員可管理栄養士を講師に迎えて、「豚肉と野菜のごまみそ煮」や「豚肉のヨーグルトみそ漬け」、「ごぼうのカップケーキ」、減塩効果のある「泡味噌」など味噌を使った調理実習を行いました。



ボランティア連絡協議会の会員14名が参加し、2時間で手際よく料理を作りました。

午後からは、お寄せいただいたリングプルを、磁石を使って異物（金属、石、ゴミ）などを取り除く選別作業を行いました。

アルミのリングプルだけを1袋25kgの大袋にまとめて、最終的には全部で4袋分になりました。

ボランティアの方々の協力により、約1時間半で作業は終了しました。

リングプルは750kgで車イス1台と交換出来ます。

引き続き町民の皆さまには、収集ボランティアにご協力くださいますようお願い致します。

## 第28回 みちくさ ふれあいサロン

平成31年3月26日(火)、第28回みちくさ『ふれあいサロン』が見晴虹の会の会員9名を招待して開催されました。

日頃よりふまねっと、100歳体操と活発な活動を続けている虹の会の皆さまは、見晴台地区より、待合室「みちくさ」までの距離を徒歩で移動して参加してくださいました。

今回も、伊藤節子さんによる「ゆるーい体操」で体を動かし、身体機能の向上に努めました。

次に吉口教子さんによる「昔懐かしい歌」を皆で大合唱しました。

大正3年の「ふるさと」からはじまり、千昌夫さんの「北国の春」など全9曲を合唱して、会場内には素晴らしい歌声が響き渡りました。

最後に、金澤三恵子さんが「紙芝居」の読み聞かせをしてくださいました。

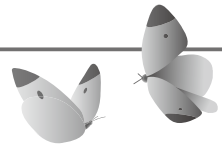
参加者は、童心にかえったつもりで紙芝居の物語を聞いていました。

昼食はスタッフが作ってくれた食事を楽しみました。





# 収集ボランティア活動報告



## 弟子屈町社会福祉協議会預かり分／ボランティアセンター預かり分

平成31年2月12日～平成31年4月9日まで

### ◆エコキャップ◆

弟子屈高校摩周SVC 様  
 社会老人  
 福祉センター 様  
 和琴湖畔キャンプ場 様  
 摩周厚生病院 様  
 特別養護  
 老人ホーム摩周 様  
 朝日1町内女性部 様  
 和田玲衣菜 様  
 猿田 咲花 様  
 グループホーム  
 あったか家 様  
 フレンドリー  
 きたさん 様  
 北崎 雅雪 様  
 弟子屈エネルギー 様  
 矢野 良洋 様

形部 章 様  
 おひさま保育園 様  
 セイコーマート  
 山名店 様  
 みはらしクラブ 様  
 武田 史郎 様  
 野村ミツ子 様  
 釧路開発建設部  
 弟子屈道路事務所 様  
 屈斜路湖荘 様  
 北村千鶴子 様  
 藤本 誠至 様  
 ゆっくりん 様  
 佐々木こなつ 様  
 セイコーマート  
 川湯店 様  
 東部げんきクラブ 様  
 佐藤 紘夢 様

風の子クラブ 様  
 飛谷 隆 様  
 東洋実業 様  
 古瀬 マミ 様

### ◆リングブル◆

森内 孝子 様  
 和琴湖畔キャンプ場 様  
 特別養護  
 老人ホーム摩周 様  
 朝日1町内女性部 様  
 矢野 良洋 様  
 おひさま保育園 様  
 野村ミツ子 様  
 片岡サチ子 様  
 中田 節子 様  
 佐藤 紘夢 様  
 永谷牧場 様

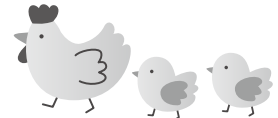
風の子クラブ 様

### ◆古切手◆

伊東まき子 様  
 森内 孝子 様  
 弟子屈高校摩周SVC 様  
 朝日1町内女性部 様  
 おひさま保育園 様  
 塚本 恭子 様  
 東部げんきクラブ 様  
 佐藤 紘夢 様  
 斎藤 悦子 様

### ◆未使用切手◆

藤本 誠至 様



月1回開催

## 子ども食堂

～キッチン・みちくさ～



平成31年3月16日(土)、子ども食堂を開催しました。

子どもの居場所づくり推進事業の一環として待合室「みちくさ」で行っているこの活動も、多くの方に支えられながら、月1回継続して開催しております。

今年度もまた毎月第3土曜日に開催していきますので、皆さまのおしをお待ちしております。



平成31年3月27日(水)、ボランティアセンターで10時よりパソコン教室を開催しました。

今回も講師に藤原俊和さん、木名瀬佐奈枝さんを迎え、ワード文書の作成や案内チラシの作成方法などの基本操作を勉強しました。

パソコンに不慣れな方も多く、マウス操作で悪戦苦闘していましたが、講師の話を生懸命聞いて練習し、最後にはそれぞれが目標にしていた文書を作ることができました。





# あたたかい善意をありがとうございます

平成31年2月12日から平成31年4月9日までにお寄せいただいた「寄附金」を紹介します。

## 寄 附 金

◆瀬川 武 様	10,000円	(車イス借用のお礼として)
◆JA摩周湖女性部 様	5,500円	(「てしかが町女性のつどい」手ぬぐい帽子の売上金を、社会福祉のために使ってください)
◆村上家子一同 様	50,000円	(生前に母がお世話になったお礼として)



### ? 「子育てサポート事業」とは

子育ての援助を受けたい人(利用会員)と援助したい人(サポート会員)が地域の中で子育ての相互援助活動を行う事業です。

### 対象児童

生後57日以上から小学校3年生まで

#### 子育てを援助して欲しい人(利用会員)

- ♥町内にお住まいで、子育ての援助を希望する方。
- ♥子育てに関するサポートが特に必要と認められる方。

#### 子育ての援助ができる人(サポート会員)

- ♥町内にお住まいで子育ての援助をお手伝いできる方。

#### 両方できる人(両方会員)

- ♥町内にお住まいで利用会員、サポート会員の両方を希望する方。

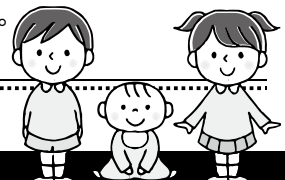


### 援助活動の内容

- 通院、残業等保護者の事情等により一時的に子どもを預かること。
- 認定子ども園、保育所、学校等への送迎を行うこと。
- その他子育て支援のために必要と認められる援助を行うこと。
- 子どもを預かる場所は利用会員の自宅又はサポート会員の自宅及び近隣の公共的施設において行います。ただし、利用会員及びサポート会員双方の合意があればこの限りではありません。
- 子どもの宿泊を伴う援助活動は行わないものとします。
- 病児、病後児の援助活動は行わないものとします。ただし軽い病気の回復期はこの限りではありません。
- 預かる子どもの人数は原則として1人とします。やむを得ず複数の子どもの場合は安全面の配慮が必要です。
- 家事援助及び子どもの入浴援助は行わないものとします。
- 援助活動中における食事、おやつ、おもちゃ等は利用会員の負担により準備してください。
- その他、子どもの安全性の確保が図られない援助活動は行わないものとします。



謝礼 社会福祉協議会の窓口にある、「子育てサポート事業」のチラシをご覧ください。



詳細は社会福祉協議会までお気軽にお問合せください

### 社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211  
 弟子屈町中央2丁目10番25号  
 弟子屈町社会老人福祉センター内  
 TEL 015-482-1054  
 FAX 015-482-1236

ご意見ご感想をお寄せください



社協の運営は、皆様の暖かい善意に支えられています。

社会福祉協議会は、行政や地域住民の皆様が安心して暮らすことができる福祉の町づくりに取り組んでいます。

慶弔のお返しにかえてまた結婚、出産等を記念して、地域の福祉の推進のために、皆様のご厚情をお待ちしております。